

丈夫なからだが一番です

「病気にならたら…」早く十分な治療を受けなければなりません。でも、その前に…ふだんから病気にならないように心がけることをまず考えたいものです。それは、「健康づくり」ではないでしょうか。

康づくり対策を進めようというわけです。

栄養のとりすぎ…

考えたこと

ありますか

わたしたちの「健康水準」は、平均寿命の伸長や青少年の体位の向上にみられるようでも、一方で保健衛生上の新たな社会問題がおこっています。

また、欠食や偏食などによる貧血が婦人に目立って増えています。国民の福祉の「ルーツ」である健康を守りそだてるためには、このようなことを防止して

このようにして、地域に密着したものにする必要があります。

新津市でも、市内各層の方

がたで構成した「健康づくり推進協議会」をこのほど発足させ、真剣な取り組みをはじめました。新津市にあつた

スタートしました

健康づくり

推進協議会

委員の方たち

(敬称略・順不同)

森川勤(医師)

古川光三郎(公衆衛生協会)

伊藤文男(市議会議員)

高塚忠司(新津市医師会)

井上研二(新津市医師会)

海津俊樹(新津市歯科医師会)

永井淑雄(農業協同組合)

広橋のや(婦人会)

増山愛子(母子保健推進協議会)

大原きくえ(食生活改善推進協議会)

渡辺宏(新津保健所)

梶井正(新津車両管理所)

この「健康づくり」は、次のことを柱にしています。

新津市にこのほど「健康づくり推進協議会」がうぶ声をあげました。

た。「自分の健康は自分で守る」という認識のもとにまちぐるみで健

康づくり対策を進めようというわ

けです。

のもの実事です。たとえば、栄養のとりすぎや運動不足などによる高血圧、心臓疾患などの循環器疾患や肥満、糖尿病の増加などがそれです。

また、欠食や偏食などによる貧血が婦人に目立って増えています。改めて婦人の健康問題が見直されています。

このようなことを防止して境をつくり出す目的で、うちだした総合対策と言えるものであります。

病気の予防ができるよな環境をつくり出す目的で、うちだした総合対策と言えるものであります。

このようにして、地域に密着したことによる健康意識を高めることで、初回会は、さる四日間に開かれ、会長に森川勤氏(医師)、副会長に古川光三郎氏(公衆衛生協会会長)を選ばれ、力を合わせての運動をめました。

後、食事指導会などを聞いていくこと

○各部落、婦人会などの集会に健

民のみなさんが「健康意識」をたかめてもらうことな

どです。なお、初回会は、さる四日間で守ることを意識してもら

うと、今年度の健康づくりの健康を確かめてもらい、その方針を決めました。

○健づくりのリーダーの養成につとめること

○貧血検査を実施して、自分

の健康を確かめてもらい、自分の健康を認識してもら

うと、今年度の健康づくりの

協議会では、まず、市民の

みなさん一人ひとりから自分

の健康を認識してもら

うと、今年度の健康づくりの